

## アクシデント・レポート(事故報告書)

### 【レポート作成の趣旨】

- 発生した事故について当事者がその経過を振り返り原因を確認することにより、今後の再発を防止する。
- 地域ボート協会を通じて日本ボート協会に報告し、日本ボート協会は報告内容を整理・分析して公開することにより、全国のボート団体が貴重な事故体験を共有し、事故防止に役立てることができる。なお、事故情報公開にあたっては地域協会名、団体名、事故当事者名などは原則として全て匿名とする。
- 日本ボート協会においては、報告された事故情報によりボート事故発生の状況を把握し安全についてのルール見直しやマニュアル改訂の資料とする。

### 【報告の対象となる事故】

- 陸上、水上を問わず、漕手や舵手が負傷した事故。
- 水上において、他艇や他物との衝突により艇本体やリガーが破損した事故。
- 風雨、波などにより、艇が沈没した事故。
- 損害の有無にかかわらず、外部の救助を仰いだ事故。

: 必須項目

<b>報告者</b>	団体名・役職:           A高校ボート部・顧問	住所:           a県b市	
	氏名:                   ●●●● (フリガナ)	電話:  (E-メール:	
<b>発生日</b>	2022年 04月 16日(土曜日) <input type="checkbox"/> 午前/ <input checked="" type="checkbox"/> 午後 01時 10分( <input checked="" type="checkbox"/> 頃 <input type="checkbox"/> 確定)		
<b>発生の場所</b>	水域名:                   愛知池	<input type="checkbox"/> 人工コース <input type="checkbox"/> 河川 <input checked="" type="checkbox"/> 湖沼・ダム <input type="checkbox"/> 港 <input type="checkbox"/> 沿岸 <input type="checkbox"/> 艇庫	
	詳細な位置( 練習水域 )		
<b>気象・水象</b>	気温:   ℃ <b>天候: 晴れ</b>	風向・風速:	視界: <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不良(約    m)
	水温:   ℃   潮位等:	流向・流速:	水質: <input type="checkbox"/> 清 <input type="checkbox"/> 濁
	湿度:   % (    )		
<b>行事</b>	<input type="checkbox"/> 通常練習中 <input checked="" type="checkbox"/> 大会中(大会名: 第67回中日本レガッタ) <input type="checkbox"/> その他: エルゴ練習中		
<b>署名</b>	クラブ責任者   2022年 4月16日	安全責任者    20    年    月    日	
	A高校ボート部顧問   B高校ボート部顧問		
<b>送付確認</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 報告者 → 地域ボート協会(担当者: 愛知県SA藤垣)   4月16日送付 <input checked="" type="checkbox"/> 直接/ <input type="checkbox"/> 郵送/ <input type="checkbox"/> FAX/ <input type="checkbox"/> Eメール		
	<input checked="" type="checkbox"/> 地域RA → 日本ボート協会(担当者: 竹内安全環境委員長)   4月18日送付 <input type="checkbox"/> 直接/ <input type="checkbox"/> 郵送/ <input type="checkbox"/> FAX/ <input checked="" type="checkbox"/> Eメール		

関係艇	所属団体名	艇種	クルー構成(学年、性別、氏名等)	
	A	A高校ボート部	男子2×	3年男、3年男
	B	B高校ボート部	女子2×	3年女、2年女
関係者・目撃者	所属団体	役職	氏名	関係
				<input type="checkbox"/> 救助 <input type="checkbox"/> 目撃 <input type="checkbox"/> その他
状況	時刻	状況(時系列に沿い、「客観的事実」「推定」を判別して記載。被害については次項に記載)		
	発生前	当日は、風向により逆スタートの航行ルールでレースを行っていた。		
	発生時	13:10	練習水域へ向かうため750m地点でコースを横断したA高校男子2×と、回漕レーンをスタートに向かっていたB高校女子2×が衝突した。	
	事後処置対応	13:20	近くにいた救助艇が気が付き、B高校女子2×バウ付近に穴が開いた状況を確認し航行不可と判断し、選手を救助、2×艇は別の救助艇が本部前船台までえい航した。	
13:40		救助艇からの連絡を受けた本部は両校顧問へ連絡し、事故状況の確認を行った。 A高校男子2×トップにB高校女子2×が乗り上げ、A高校男子2×波除突起部がB高校女子2×バウ左舷にあたり穴を開けた。 A高校男子2×は、コース横断後に練習水域へ直進できることから漕ぎ続けていた。		
人的損害	シート	氏名	負傷状況	事後処置(口済口予定)
			なし	
物的損傷	対象物		損傷状況	事後処置(口済口予定)
	A高校男子2×		ガンネル、波除損傷	業者による修理
	B高校女子2×		バウ左舷穴	業者による修理
参考情報				添付資料 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり↓ ( 種類、合計 枚)
対策・計画	短期的措置(1~6ヶ月以内、応急的対策) ・両校とも艇が交錯する場所では、進行方向の安全を確認するよう選手に徹底する。			1年後評価: <input type="checkbox"/> 良 <input type="checkbox"/> 否 (提出時記入不要)
	中・長期的措置(6ヶ月以上、基本的対策) ・逆スタート時の航行ルールには交錯する本地点は徐行する旨の記載をしているが、会場アナウンスなどにより徹底する。			1年後評価: <input type="checkbox"/> 良 <input type="checkbox"/> 否 (提出時記入不要)

